

第26回全日本シニアソフトテニス選手権  
55歳の部で準優勝

9月24～25日、県運動公園で第26回全日本シニアソフトテニス選手権大会が開催され、塘内正美さん(小池)と米村真也さん(榎の本)のペアが55歳の部で準優勝しました。

塘内さんは「目の前の試合だけに集中し、泥臭く一生懸命やった結果が準優勝に繋がりました。ペアに恵まれ、今でも幼馴染みと一緒にプレーできていることが幸せです」と話しました。



左から、塘内さん、米村さん。幼馴染で息もびつりの二人

シニアソフトボール古希長崎諫早大会  
SC熊本が優勝

9月24～26日、長崎県諫早市で開催された、第27回全国シニアソフトボール古希長崎諫早大会(出場資格68歳以上)で、SC(ソフトボールクラブ)熊本が見事優勝しました。SC熊本は熊本・菊池地域のシニアで構成されたチームです。投手兼監督の前田勇さん(南須屋)は「5試合を最少の失点で抑えることができました。全員一丸となって試合に勝てたことが何よりうれしいです」と喜びを語りました。



全国から51のシニアチームが集まり、熱戦を繰り広げました

第21回南小国町「きよらの郷」  
防犯少年柔道大会 団体戦2部門で準優勝

10月2日、小国町立体育館で行なわれた大会で、真心館柔道クラブの2チームが準優勝しました。

女子の部 準優勝 写真①左から、藤井優花(泗水小6年)、船山虹春(楓の森小6年)、緒方佑奈(西合志中央小6年)、中原史恵(西合志南小4年)

1・2年生の部 準優勝 写真②左から、土佐由奈(楓の森小2年)、下村琉心(合志南小2年)、清田翔之助(西合志南小2年)、山元雅登(西合志中央小1年)



準優勝した皆さん「次の試合に向けてまた練習を頑張ります」

菊池郡市ソフトテニス新人戦で  
西合志南中女子が優勝

9月24日、七城テニスコートで令和4年度菊池郡市中学生ソフトテニス新人選手権が開催され、西合志南中学校の2年生女子チームが見事優勝しました。キャプテンの堀多瑛子さん(2年生)は「優勝を目指して練習してきたので、とても嬉しいです。チームの頑張りと指導してくれた皆さんのおかげです。県大会はもちろんですが、どの大会でも心を一つにして頑張ります」と話しました。



西合志南中2年女子ソフトテニス部の皆さん

里親制度を知っていますか



里親制度は、さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもを、自分の家庭に迎え入れ養育する制度です。特定の大人との愛着関係のもとで養育されることにより、自己肯定感や基本的信頼感を獲得することに繋がります。

里親という「大変そう」、「子育て経験がないから不安」という人も、里親支援に関わる機関からさまざまな研修やサポートを受けることができます。まずは、気軽に制度説明を受けてみませんか。皆さんの家庭に合った活躍の仕方が見つかるかもしれません。

また、登録だけでなく、制度を知り、地域の里親や委託されている子どもを温かく見守り迎え入れることも大切なことです。ぜひ、一度お問い合わせください。

里親には大きく分類して3つの種類があります

養育里親

子どもが実親のもとで暮らすことができるようになるまでの間、または子どもが自立するまでの間、子どもを自分の家庭に迎え入れて養育する里親のことです。子どもの養育にかかる費用は支給されます。また養育里親の活躍の仕方として、長期休みの間に数日間預かる形や、数日から1～2カ月という短い期間で家庭に迎え入れる形もあります。

特別養子縁組里親

特別養子縁組による養子縁組を希望する里親のことです。試験養育期間を経て、審判成立後は、実子として養育します。

親族里親

親が行方不明などで、養育ができない子どもを、祖父母など扶養義務のある親族が児童相談所より委託され、養育する里親です。

慈愛園乳児ホーム養育家庭支援センターきらきらは、県から委託を受けて、里親に関する総合的な支援を行なっています。里親になるためには特別な資格はいりません。興味のある人はご相談ください。

☎096-383-8100

HP: <https://jaien-nyujihome.com/>  
里親支援/



▲ホームページ

よみ人こころし

合志短歌俳句会

短歌

ありがたき年寿の祝琴の音に高千穂の歌故郷の歌  
ぎぼうしに寄り添ふ緑に濡れる石戻りたかな五木の川  
父と母兄弟と皆遊きて話相手のいづこに居るやら  
キラキラと輝く露に導かれ今日も行きたい元気の森へ  
在りし日の母偲びつつ佇つ庭に晩夏の風の過ぎゆくばかり  
いづこよりお出でなりしか彼岸花道行く人を慰めくれる  
大木の輝き光る元気の森人の集まる楽しき処  
鞍岳に車列をなして登る人吾は静かに乗捨ふなり  
ニユース読む世界秩序は守られずこの先祖国いかに進まん  
真夏日や介護出来ぬを夫に詫び終の地探しに今日も出掛けぬ

合志短歌俳句会

俳句

夕陽受けなお赤味増す赤とんぼ  
サプライズ内緒く〜の乗御飯  
秋深むすじ雲うすく流れゆく  
空高し頭上を飛ぶや定期便  
歩行器の目線の先の秋の雲  
台風の卵遠くに星明り  
白髪のブラシにからむ秋思かな  
百日紅花なき庭の華やぎて  
果てはいつコロナと猛暑日々更新  
主無き庭の片隅秋茗荷

子 満 満 都 博 智 ク 智 保  
文 喜 喜 子 明 子 二 子 子 修

都 満 ク や 育 都 や 博 保 育  
子 喜 二 よ 子 子 よい 明 子 子

